ETC二輪車「ツーリングプラン」バイクラブフォーラム一関スペシャルコース

http://www.driveplaza.com/trip/drawari/

NEXCO東日本及び宮城県道路公社は、BIKE LOVE FORUM開催実行委員会が8月3日（金）に岩手県一関市でBIKE LOVE FORUM in 岩手・一関（BLF一関）を開催することを記念し、すでに実施しているツーリングプラン「東北道・常磐道・磐越道コース」の対象エリアを岩手県まで大幅に拡大したツーリングプラン「バイクラブフォーラム一関スペシャルコース」を期間限定で設定する。

なお、当日の天候などを踏まえ、走行直前でも申し込み・解約ができる（キャンセル料は不要）。

【対象期間】
平成30年8月1日（水）～平成30年8月31日（金）

【対象車両】
ETC無線通信により高速道路を走行可能な二輪車

【利用期間】
最大4日間

【コース価格】
9，500円
対象エリア内乗り降り自由

『北海道命名150年』記念 『北海道スマホスタンプラリー 第二弾』開催

NEXCO東日本北海道支社は、北海道の観光施設や道の駅などと連携し、『北海道命名150年記念！！北海道スマホスタンプラリー』第二弾を平成30年6月16日（土）より開始した。

この企画は、スマホのGPS機能を利用したスタンプラリーで、ドライブ観光を楽しみながら北海道の魅力を発見してもらうことを目的に実施している。

【実施期間】
平成30年6月16日（土）～平成30年11月5日（月）

【第二弾・スタンプ取得スポット】
全250カ所（観光施設102カ所、北海道内の道の駅122カ所、北海道ジオパーク5カ所、高速道路SA・PA21カ所）

※第一弾で取得したスタンプは自動的に第二弾へ引き継がれる。

【参加方法】
特設ページから参加登録。詳細はホームページで。

【認定証】
取得したスタンプに応じて、オリジナル認定証がマイページよりダウンロードできる。
①完全制覇賞〔スタンプ全250個〕
②松浦武四郎のふるさと賞〔スタンプ150個〕
③北海道の味覚賞〔スタンプ100個〕
④北海道周遊賞〔スタンプ50個〕
⑤北海道感動賞〔スタンプ30個〕
⑥北海道を満喫したで賞〔スタンプ20個〕
⑦北海道ジオパーク制覇賞〔ジオパークのスタンプ5個〕
⑧SA・PA制覇賞〔SA・PAのスタンプ全21個〕

【第二弾・応募コース・賞品】
13応募コース、合計240名に豪華賞品が抽選で当たる。また、全250カ所のスタンプを取得された方には、完全制覇賞として、記念品と賞状を贈呈する。
※応募は一人各賞1回ずつとなり、すべての賞において、第二弾で新たに追加したスタンプを1個以上取得することが条件となっている。

https://stamap.jp/hokkaidostamprally/

『明治維新150年』記念 『西得＋1スマートくじ』『デジタルスタンプラリー』開催

NEXCO西日本と西日本高速道路サービス・ホールディングス株式会社は、NEXCO西日本管内のSA・PAにて、明治維新150年を記念する企画として、「西得＋1スマートくじ」と「デジタルスタンプラリー」を開催する。

「西得＋1スマートくじ」は、明治維新にちなんだ賞品や宿泊券などが当たり、レストランにて明治維新メニューの販売やSA・PAにて明治維新物産展も開催する。

「デジタルスタンプラリー」は、SA・PAをめぐりながら明治の偉人たちのスタンプを集める。

【西得＋1　スマートくじ】
《概要》
対象店舗のショッピングコーナー、レストランコーナーで税込1，500円のお買い上げごとにスマートくじを1枚進呈する。スマートくじをめくると、①「幕末志士賞（宿泊券）」への応募券、②「西国雄藩賞（特産品）」当選券、③「500円・100円・50円の割引券」のいずれかが出る。

《開催期間》
平成30年7月14日（土）～平成30年8月19日（日）
※①「幕末志士賞」の応募期限は、平成30年8月26日（日）まで（消印有効）。
※②「西国雄藩賞」の応募期限は、平成30年8月26日（日）まで。
※③「500円・100円・50円の割引券」の有効期限は、平成30年8月19日（日）まで。

《参加箇所》
NEXCO西日本管内のSA・PA 155箇所

【「明治維新150年」メニューの販売】
《概要》
明治維新にちなんだメニューを販売する。なお、販売開始後1週間は、対象メニューを食べた方に、ショッピングコーナーで利用できる150円割引券（※当日当店のみ有効）をプレゼントする。

《開催期間》
平成30年7月1日（日）～平成30年8月31日（金曜）

《参加箇所》
NEXCO西日本管内のSA・PA 74箇所

【デジタルスタンプラリー】
《概要》
SA・PAの店舗に立寄り、スマートフォンを使って明治の偉人たちのスタンプを集めるデジタルスタンプラリー。スタンプ以外にも明治維新にちなんだトリビア（豆知識）も用意している。各店内にデジタルスタンプ入手用のポスターを貼っているので、ポスターを見つけてスタンプを手に入れる。また、スタンプの数に応じて豪華な賞品も当たる。

《開催期間》
平成30年7月7日（土）～平成30年11月30日（金）
※獲得したスタンプやトリビア、フォトフレームについては、平成30年12月7日（金）まで閲覧可能。

《参加箇所》
NEXCO西日本管内のSA・PA 183箇所

《賞品応募》
集めたスタンプの数に応じて賞品に応募できる。
①1スタンプ賞
SA・PAで使える割引クーポン券（500円相当）
②4スタンプ賞
SA・PAで使える割引クーポン券（1，000円相当）
③10スタンプ賞
明治維新ゆかりの地の商品（やまぐち旬彩海峡本舗の「国産とらふぐ刺しセット」）
④40スタンプ賞
明治維新ゆかりの地へも行ける旅行券（50，000円相当）
⑤全制覇賞
183全店制覇された方全員に表彰状
※それぞれの個数を集めた段階で各賞に応募できる。例えば、スタンプを50個集められた方は、①1スタンプ賞～④40スタンプ賞まで応募できる。

スタンプイメージ

阪神高速ETC乗り放題パス【2018 SUMMER-AUTUMN】

https://www.hanshin-etc.jp/md/2018sa/index.html

阪神高速は、『阪神高速ETC乗り放題パス【2018 SUMMER-AUTUMN】』を販売する。

本乗り放題パスは、利用者が事前に申込みした日について、阪神高速道路（大阪府・兵庫県内）の通行料金が、登録車種・利用区間等に応じて1日定額で乗り放題となる。また、阪神高速沿線等のお得なクーポンも付いている。

【利用期間】
平成30年7月14日（土）～平成30年12月16日（日）の土日祝
※期間中、4日程度が対象除外日となる予定。

【利用価格】
利用者が利用した区間を通行履歴から判定し、その区間に応じた利用料金を徴収
※利用する区間を事前に選択する必要はない。

【対象路線】
阪神高速道路全線（大阪府・兵庫県内）が対象

【定員】
各設定日につき、先着4，000名

【対象車両】
ETCシステムを利用する普通車または軽・二輪
※中型車、大型車、特大車は対象外

【受付期間】
平成30年7月6日（金）～平成30年12月16日（日）利用前まで
※キャンセルは利用予定日前日の24時前まで

【利用可能回数】
1枚のETCカードで10回まで申し込み可能

【車種の変更】
すでに登録している車種を変更可能（利用日当日の車種変更は1回限り）

利用価格

ご利用区間	登録車種	
	普通車	軽・二輪
東地区のみのご利用の場合	1,090円	940円
西地区のみのご利用の場合	1,090円	940円
全地区（東地区または西地区を超えた）ご利用の場合	1,650円	1,390円

（ETC2.0車載器のみを利用の場合）

ご利用区間	登録車種	
	普通車	軽・二輪
東地区のみのご利用の場合	1,040円	890円
西地区のみのご利用の場合	1,040円	890円
全地区（東地区または西地区を超えた）ご利用の場合	1,570円	1,320円

高速道路の主な工事に伴う通行止め・規制情報

【工事通行止め】

◇**日本海東北自動車道**　庄内空港IC～酒田IC
7月24日（火）20:00～翌6:00

◇**阪神高速15号堺線**　玉出入口
7月10日（火）～11月上旬　入口閉鎖

◇**高松自動車道**　鳴門JCT～志度IC
9月3日（月）～9月7日（金）20:00～翌6:00
9月10日（月）～9月14日（金）20:00～翌6:00

◇**今治小松自動車道**　今治湯ノ浦IC～いよ小松IC
9月10日（月）～9月14日（金）20:00～翌6:00

◇**高知自動車道**　大豊IC（上り線）20:00～翌6:00
9月25日（火）～9月27日（木）20:00～翌6:00

◇**松山自動車道**　大洲南IC～西予宇和IC
9月25日（火）～9月28日（金）20:00～翌6:00
10月1日（月）～10月5日（金）20:00～翌6:00

【工事規制】

◇**山形自動車道**　関沢IC～笹谷IC（上り線）
7月2日（月）～11月30日（金）昼夜連続車線規制（土日・祝日を除く）

主張

祝！外環道千葉県区間開通

平成30年6月2日、外環道の三郷南から高谷JCT（湾岸道）までの部分が開通した。

これにより外環道全体の約5分の3程度が完成したが、開通を報じる新聞には「半世紀を経て」との表現が多く使われていた。

外環道の最初の開通を覚えている。平成4年の三郷から和光間であったが、東名や東北の放射軸に加えて今後は環状の高速道路が作られて便利になるのだと考えた記憶がある。

それから約四半世紀、ようやく千葉県区間が完成したが本当に長かったと思う。その間にあった色々な事を思い出しながら早速走ってみた。

ルートは湾岸道を千葉方面から走行し高谷JCTから外環に入るルートにしたが、完成直後の舗装の状態はすばらしく、すこぶる快適に走行できた。時間的にも、いわゆる「したみち」で下手をすれば1時間近くかかる区間を約10分程度、まさに「あっという間」に松戸ICに到着した。

ほぼ地下空間であるので「景色が見えない」、「圧迫感がある」などの感想も聞いたことがあるが、環境に対する意識の高まりのことを考えるとドライバーの側からもありがたい面があるかもしれないと思った。

今回の開通により大きな便益を肌でもって感じることができたが、高速道路を含め道路というものは開通してしばらくすれば「あって当たり前」の施設になってしまい、完成時の喜びはすぐに忘れてしまう。

「無駄な道路」というフレーズが世間を賑わせたことがあったが、少なくとも外環道を「無駄な道路」であるという論調に筆者は触れたことはない。首都圏の経済活動とくらしを支える道路として多くの支持を得たことが最大の理由であろう。もし、自分が使う道路を「無駄な道路」と言われたらどう思うだろうか。今後の我が国全体のあり方についても考えを巡らせてしまう。

また将来、松戸IC付近で「北千葉道路」と接続するとの話を聞いたことがある。これが完成すればさらに大いなる便益がもたらされることとなるが、自分で運転ができるうちに開通することを切に祈っている。